

①

創価学会「勤行要典」による勤行と御祈念文

御本尊に向かい（鈴）、諸天供養の意義も込めて題目三唱します。

方便品・自我偈の読誦と唱題

方便品を読誦します。（鈴）

自我偈を読誦します。（鈴）

題目を唱えた後（鈴）、題目三唱します。

次の内容を祈念します。

②

一、御本尊への報恩感謝

法華経の肝心・南無妙法蓮華経の御本尊に南無し、報恩感謝申し上げます。

末法の御本仏・日蓮大聖人に南無し、報恩感謝申し上げます。

日興上人に南無し、報恩感謝申し上げます。

と祈念の後、題目三唱します。

③

一、三代会長への報恩感謝

創価学会初代会長牧口常三郎先生、第二代会長戸田城聖先生、第三代会長池田大作先生を广泛宣传の永遠の師匠と仰ぎ、その死身弘法の御徳に報恩感謝申し上げます。

と祈念の後、題目三唱します。

④

一、世界広宣流布の祈念と回向

世界広宣流布大願成就と、創価学会万代の興隆を御祈念申し上げます。

自身の間革命と宿命転換を祈り、種々の願いが成就しますよう御祈念申し上げます。

（種々の祈念はここで行います）

⑤

先祖代々並びに亡くなられた会員・友人の追善供養のために。

（回向の中で鈴を打ちます）
と祈念の後、題目三唱します。次に

世界の平和と一切衆生の幸福のために。

と祈念の後（鈴）、題目三唱して終わります。

⑥